

8.11 水利用

8.11.1 調査事項

調査事項は、表 8.11-1 に示すとおりである。

表8.11-1 調査事項（東京2020大会の開催後）

区 分	調査事項
予測した事項	・水の効率的利用への取組・貢献の程度
予測条件の状況	・節水設備の状況
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・保水性の良い馬場構造を採用することにより、馬場への散水量を従前の馬事公苑より30%低減する計画となっている。馬事公苑内の馬場散水必要量は47t/日と想定しているが、従前と同様に井水と上水を併用する計画であり、取水制限の範囲内で、必要量の4割強に当たる20tを井水利用する予定としている。 ・メインオフィスや管理センター等に、節水型便器、擬音装置を設置する。 ・必要に応じて利用者に対する節水を周知する。

8.11.2 調査地域

調査地域は、計画地とした。

8.11.3 調査手法

調査手法は、表 8.11-2 に示すとおりである。

表8.11-2 調査手法（東京2020大会の開催後）

調査事項		水の効率的利用への取組・貢献の程度
調査時点		施設の供用が開始され、事業活動が通常の状態に達した時点とした。
調査期間	予測した事項	2021年の適宜とした。
	予測条件の状況	2021年の適宜とした。
	ミティゲーションの実施状況	2021年の適宜とした。
調査地点	予測した事項	計画地とした。
	予測条件の状況	計画地とした。
	ミティゲーションの実施状況	計画地とした。
調査手法	予測した事項	関連資料の整理による方法とした。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。

8.11.4 調査結果

(1) 調査結果の内容

1) 予測した事項

ア. 水の効率的利用への取組・貢献の程度

本施設は、2023 年秋まで 2 期工事中であり、再開苑は 2023 年秋以降であることから、水利用の実績値はまだない。

2) 予測条件の状況

ア. 節水設備の状況

本事業は、馬術競技会場（クロスカントリーを除く）の整備を行うもので、節水の取組みとして、保水性の良い馬場構造を採用した。また、メインオフィスや管理センター等においては節水型便器や擬音装置を設置し、節水対策が行われている。

3) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.11-3 に示すとおりである。なお、水利用に関する問合せはなかった。

表8.11-3 ミティゲーションの実施状況（東京2020大会の開催後）

<p>ミティゲーション</p>	<p>・保水性の良い馬場構造を採用することにより、馬場への散水量を従前の馬事公苑より30%低減する計画となっている。馬事公苑内の馬場散水必要量は47t/日と想定しているが、従前と同様に井水と上水を併用する計画であり、取水制限の範囲内で、必要量の4割強に当たる20tを井水利用する予定としている。</p>
<p>実施状況</p>	<p>競技場の表層材にはフェルト材が混合されており、クッション性ととも保水性の高い馬場構造とした。散水には従前と同様に井水と上水を併用することとしている。</p>
 <p style="text-align: center;">練習馬場</p>	 <p style="text-align: center;">防災用井戸</p>
<p>ミティゲーション</p>	<p>・メインオフィスや管理センター等に、節水型便器、擬音装置を設置する。</p>
<p>実施状況</p>	<p>メインオフィスや管理センター等のトイレに、節水型便器、擬音装置を設置し、節水対策が行われている。</p>
 <p style="text-align: center;">節水型便器</p>	 <p style="text-align: center;">擬音装置</p>
<p>ミティゲーション</p>	<p>・必要に応じて利用者に対する節水を周知する。</p>
<p>実施状況</p>	<p>馬事公苑は整備工事のため休苑中であり、再開苑は2023年秋を予定している。再開苑後、節水の周知を行う予定である。</p>